

平成26年 7月25日

資料提供先 福山市政記者クラブ
府中市役所記者クラブ

芦田川で生き物調査 ～水生生物による水質の簡易調査を実施します～

水生生物調査状況（府中新橋）



水生生物調査状況（大井手頭首工）



※写真は平成25年度調査

福山河川国道事務所では、多くの子供たちの参加を得て調査することにより、川に親しんでもらい、河川愛護、水質などへの関心を高めていただくことを目的に以下の予定で調査を行います。

芦田川水系においては、この「水生生物による水質の簡易調査」を平成 59 年から毎年実施しています。

○実施予定 : 平成 26 年 7 月 28 日 (月)、8 月 1 日 (金)、8 月 20 日 (水)
※小雨決行 (大雨、気象警報等の場合は中止)

○実施位置 : 別紙図のとおり

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 後藤 寿久

【担 当】調査設計第一課長 坂田 重美

TEL(084)923 - 2620(代表) FAX(084)923 - 2517

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

平成26年度 芦田川水生生物調査実施概要

1. 調査目的

国土交通省では、従来より河川管理者の立場から水質や生物等の調査を実施しておりますが、水生生物調査は特に川底に生息する水生生物を指標としてその分布状況を広く調査し、河川の水質状況を概観するとともに、中・高校生等多くの方々の参加を得て調査することにより川に親しんでもらい、河川愛護、水質浄化等への関心を高めてもらうことを目的とするもので、昭和59年から毎年実施しています。

2. 調査時期

平成26年7月28日、8月1日、8月20日

3. 調査地点

国土交通省福山河川国道事務所で水質観測を行っている箇所を基に、下記の地点で行います。

芦田川水生生物調査箇所一覧表

No	水系名	河川名	調査実施		調査日時 (予定)
			地点名	所在地	
1	芦田川	芦田川	大井手頭首工	府中市久佐町地先	8月20日 13:40
2	"	"	府中新橋	府中市土生町地先	7月28日 10:00
3	"	"	山手橋	福山市山手町地先	8月1日 10:00
4	"	高屋川	白鷺橋	福山市神辺町川南地先	8月20日 9:00

※別紙位置図参照

4. 水質の指標生物について

別紙の指標となる水生生物の数を調べ、簡易的に水質判定をおこなう調査です。

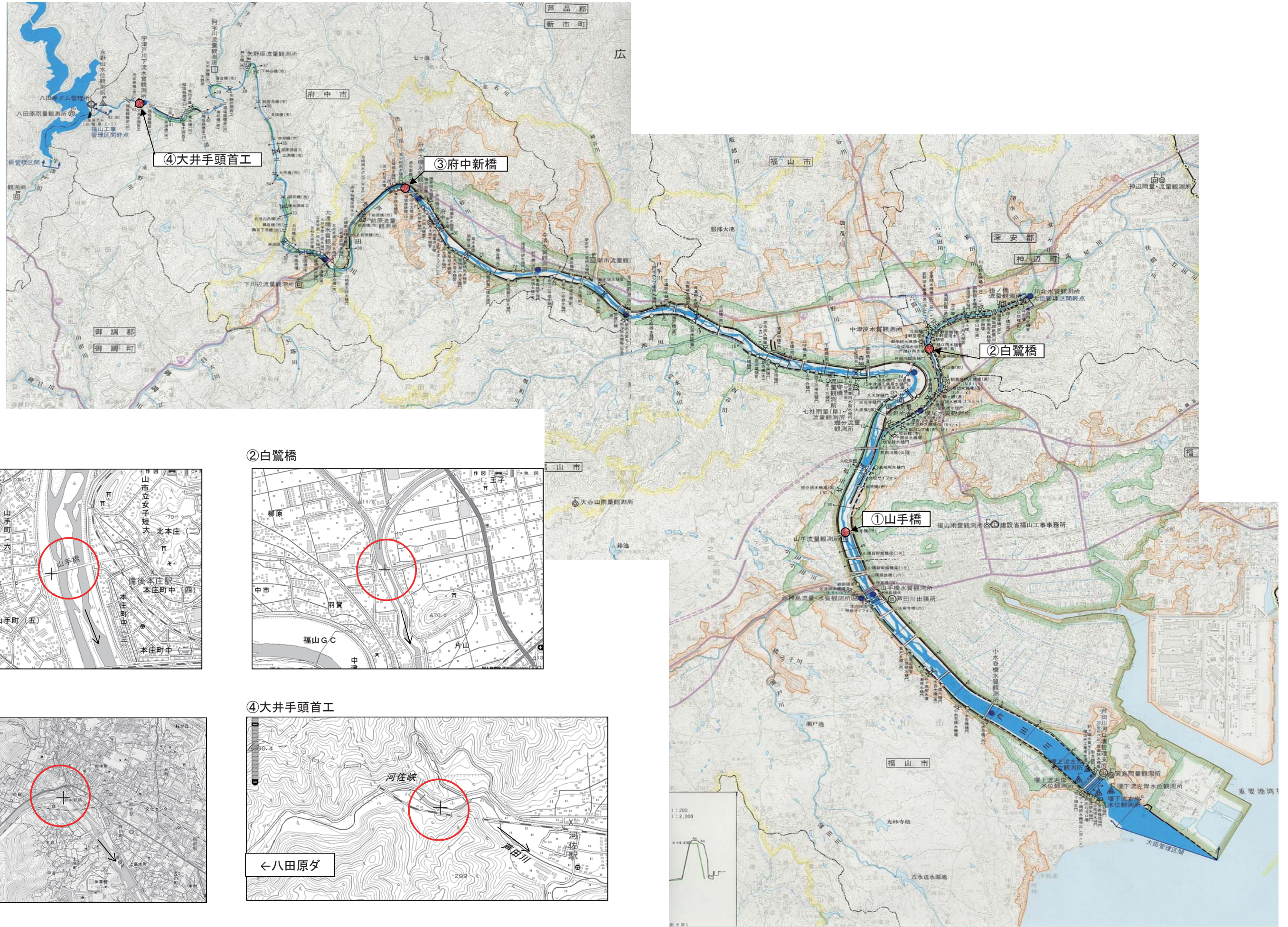
5. 平成25年度調査結果（参考）

芦田川水系では平成25年度には4箇所中3箇所です「Ⅱ：ややきれいな水」と判定されました。

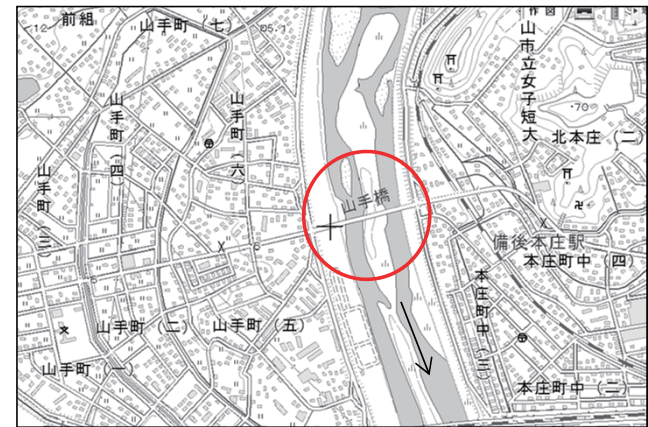
河川名	地点名 / 水質階級	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	判定	参加者
芦田川	大井手頭首工	3	5	1	0	Ⅱ	福山市立中央中学校 福山市立城西中学校
	府中新橋	6	8	2	0	Ⅱ	めだかの学校
	山手橋	1	5	1	0	Ⅱ	福山河川国道事務所のみ
高屋川	白鷺橋	0	0	5	0	Ⅲ	福山河川国道事務所のみ

※水質階級 I：きれいな水 Ⅱ：ややきれいな水 Ⅲ：きたない水 Ⅳ：とてもきたない水

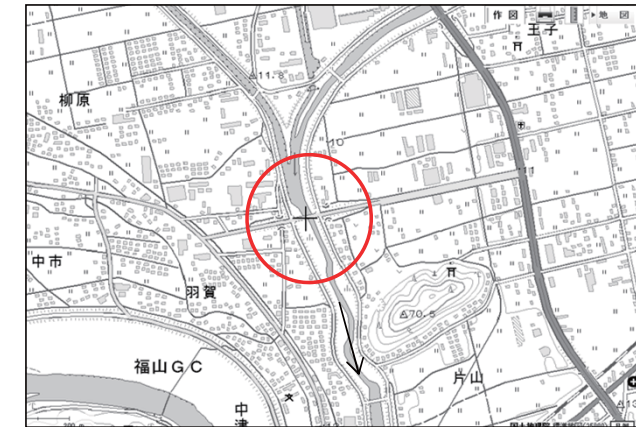
○平成26年度 芦田川水生生物調査 位置図



①山手橋



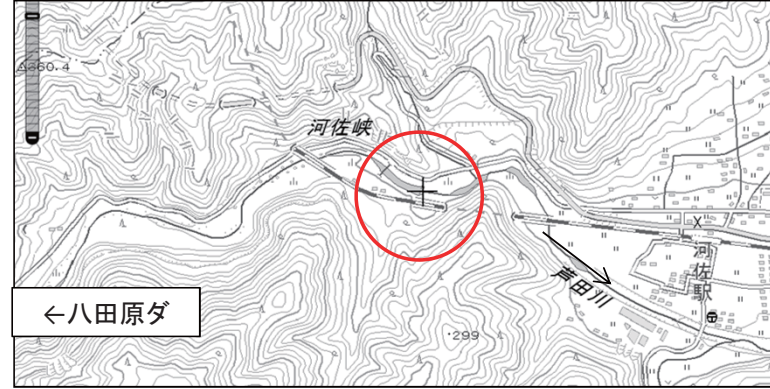
②白鷺橋



③府中新橋



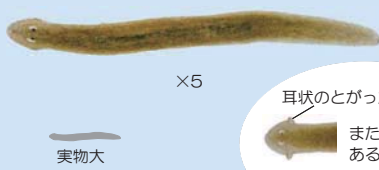
④大井手頭首工



川の生きものを調べよう

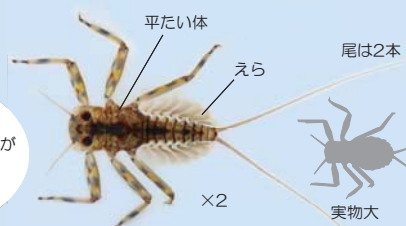
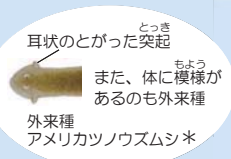
水生生物による水質判定

I きれいな水



ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる

つめは2本 (カゲロウは1本)



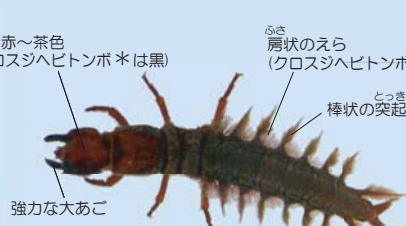
アミカ類

ふくめん きゅうはん
腹面に吸盤があり、急流の岩や石に
はりついている



サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、
同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものをおそう



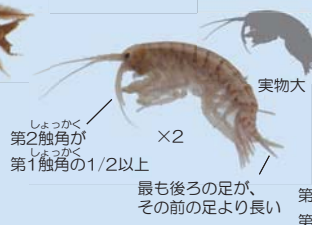
ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



ヨコエビ類

上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

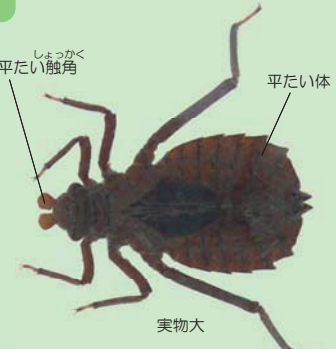
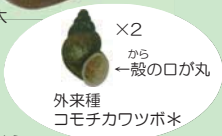
I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

II ややきれいな水



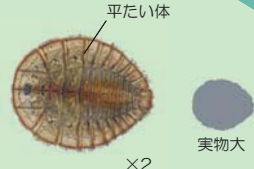
カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツツボキは数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶〜黒色



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



コガタマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



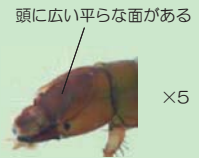
ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



ゲンジボタル

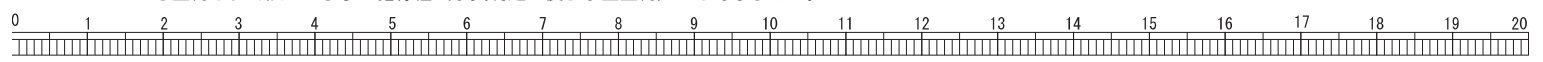
ヘイケボタル



オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



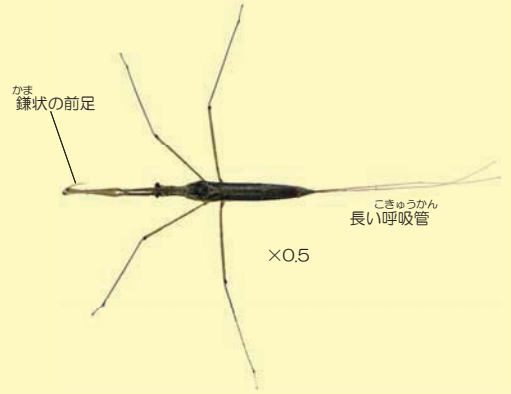
シマイシビル

背中に縦縞模様がある
の伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

汽水域(海水が混じているところ)

Ⅱ ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている
淡水域にもいることもある

ヤマトジジミ

砂や泥の中にいる
淡水域にはマジジミ*や外来種の
タイワンジジミ*がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。